～　特に注意して欲しい事　～

・鉛筆書きは、
全て問題提供者のもの。

断りが無い場合は、
貼っているのは、山川世界史用語集。

それ以外の引用は、適宜、書籍名をちゃんと提示します。

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

以下の文章の空欄 （1）（2） から （9）（10） に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部（ア）から（カ）に関連する設問1から6、および文章全体に関連する設問7について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。なお、以下の文章中の宗教Aから宗教Eは、それぞれ特定の宗教を指す。

宗教は、時として権力と結びつきつつ、また時として権力や文化の影響圏の境界を越えて、広大な地域にまで信仰を浸透させていく力を有している。そしてまたその影響力は、時として特定の時代を超え、長期にわたって継続していく。

たとえば、後に中国で祆教と称される宗教Aは、3世紀、イラン高原に建国された王朝の初代の王、（1）0 6（2） 1世によって正式に国教と定められたものであった。

マウリヤ朝の最盛期であった前3世紀に第3代の王が帰依し、統治の理念とした宗教Bは、後2世紀にカニシカ王がインダス川流域の （3）3 1（4） を首都と定めた王朝においても影響力を維持し、アジア諸地域の一般の人びとへと影響圏をひろげていくことになる。

さらに4世紀以降、グプタ朝においては、宗教Bとともに、(ア)バラモン教を基礎として展開した宗教Cが社会的に定着した存在となり、(イ)二つの宗教の影響は美術や文化においても顕著なものとなる。6世紀以降、グプタ朝が衰退するにつれ、この王朝の支配が弱まった地域では、宗教Bの勢力も徐々に衰えていく。そうした地域の支配者の多くは、当時、宗教Cを信仰したが、(ウ)7世紀にヴァルダナ朝を興した王は、宗教Bを排斥しようとはしなかった。この王が統治した時代、旅行記『大唐西域記』の著者となる人物が中国から訪れ宗教Bを学び、この王の厚遇をうけた。

7世紀、メディナに形成されたウンマを足掛かりとして勢力を伸ばした宗教Dは、教派間の対立をはらみつつも、カリフの （5）4 5（6） によって新都とされ、(エ)762年から円城が造営されたバグダードや、ダマスクス、カイロ、コルドバ、マラケシュなどの都市を中心として影響圏を拡大していった。宗教Dを信奉する勢力の影響は、インドやサハラ砂漠以南のアフリカにもおよび、インドではデリーを首都として、宗教Dを支持する(オ)いくつかの王朝が成立した。また、アフリカの諸王国のなかで、チャド湖周辺地域を領有した （7）1 6（8） 王国では、王の改宗を経て、宗教Dの影響力が強まった。

4世紀から5世紀にかけての、(カ)教義の正統性をめぐる議論を経て、宗教Eは、そこで正統と定められた教義を根本として、ひろく世界に影響をおよぼしていくことになる。そして、正統教義に反するとされた教派は、異端とみなされた。異端とされたある一派は、後に中国に伝わり景教と称された。13世紀になると、この一派は、フビライの弟、（9）0 5（10） が初代君主であった国において一時保護される。しかし、同じ国の第7代の君主は、宗教Dへと改宗し、これを国教とするにいたった。

［設問1］

下線部（ア）のバラモン教は、ヴァルナにもとづく宗教的制度と深く結びついていた。インドにおいて （11）0 5（12） 年代に施行された憲法は、この宗教的制度に由来する差別を法的に禁止した。 （11）（12） に入る最も適切な数字を以下から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

［01］ 1910　［02］ 1920　［03］ 1930　［04］ 1940
［05］ 1950　［06］ 1960　［07］ 1970　［08］ 1980

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

［設問２］

下線部（イ）に関連して、宗教Bに関わる薄い衣をまとった立像の生産地として知られ、また、宗教Cに関わる世界維持の神の化身クリシュナの生誕地とされるのは、 (13) 3 7 (14) である。 (13) (14) に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

［設問３］

下線部（ウ）の王は、 (15) 1 5 (16) を都と定めた。 (15) (16) に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

［設問４］

下線部（エ）のバグダードを都とした王朝では、官僚組織が次第に整備され、 (17) 5 0 (18) とよばれる職位につく者が、カリフにつぐ権限をもつようになる。 (17) (18) に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

［設問５］

下線部（オ）のいくつかの王朝のうち、13世紀から14世紀にかけて統治をおこない、税制改革や軍事改革を実施した王朝は、 (19) 2 6 (20) 朝である。 (19) (20) に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

1206〜　1212　1414

［設問６］

どくはとする　1414　単性論→かしがし

下線部（カ）に関連して、 (21) 1 7 (22) 公会議での教義をめぐる決定に反発したシリアの一派は、これをきっかけに、シリア教会として独自の発展をとげていった。 (21) (22) に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

［設問７］

ゾロアス・ヒントゥー　ゾロアスター

文章中の宗教Aから宗教Eについて、【ア】特定の教祖によって開かれたものではない宗教、【イ】一神教ではない宗教、の組み合わせとして最も適切なものを以下［01］から［15］より選び、その番号を (23) (24) にマークしなさい。

[01] 【ア】宗教A－【イ】宗教A
[02] 【ア】宗教A－【イ】宗教B
[03] 【ア】宗教A－【イ】宗教C
[04] 【ア】宗教B－【イ】宗教B
[05] 【ア】宗教B－【イ】宗教C
[06] 【ア】宗教B－【イ】宗教D
[07] 【ア】宗教C－【イ】宗教C
[08] 【ア】宗教C－【イ】宗教D
[09] 【ア】宗教C－【イ】宗教E
[10] 【ア】宗教D－【イ】宗教D
[11] 【ア】宗教D－【イ】宗教E
[12] 【ア】宗教D－【イ】宗教A
[13] 【ア】宗教E－【イ】宗教E
[14] 【ア】宗教E－【イ】宗教A
[15] 【ア】宗教E－【イ】宗教B

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

〔語群〕

01. アクスム
02. アジャンター
03. アブー＝バクル
04. アミール
05. アリクブケ
06. アルダシール
07. イマーム
08. ウァレリアヌス
09. ウマル
10. ウラマー
11. エフェソス
12. エローラ
13. オゴタイ
14. ガーナ
15. カナウジ
16. カネム＝ボルヌー
17. カルケドン
18. クシナガラ
19. クシュ
20. クテシフォン
21. ゴール
22. コンスタンツ
23. サイイド
24. サールナート
25. サレー
26. シャープール
27. チャンドラグプタ
28. トゥグルク
29. ナーランダー
30. ニケーア
31. パガン
32. バクトラ
33. パータリプトラ
34. バトゥ
35. ハルジー
36. ハールーン＝アッラシード
37. ブッダガヤ
38. フラグ
39. プルシャプラ
40. ベニン
41. ホスロー
42. マトゥラー
43. マリ
44. マワーリー
45. マンスール
46. ミラノ
47. ムアーウィヤ
48. モンケ
49. ロディー
50. ワズィール

～　完璧な模範解答が欲しい方へ　～

数日後に、他の予備校さんの解答を見てください。

ゆげ塾の模範解答は、
できる限り速く出して、
Twitter で受験生と作っていく方式を取っています。

故に、出した直後は、特に、間違いが多いです。

問題 II

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

以下の文章の空欄 (25) (26) から (35) (36) に入る最も適切な人名を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部（ア）から（キ）に関連する設問1から7について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国では、独立前の宗主国が異なることもあって、地域的に隣接しながらもそれぞれ独自の文化や社会が発展した。しかし、19世紀以降、新世界の盟主を自認するアメリカ合衆国がラテンアメリカ地域への関与を強めていった。

(ア)ラテンアメリカ地域では、紀元前から高度な文明が発達した。しかし、15世紀からの大航海時代にヨーロッパ諸国による進出が始まると、16世紀にかけてポルトガルとスペインに領有されるようになっていった。(イ)白人の支配の下で、先住民や奴隷貿易で輸入されてきた黒人が、鉱山やプランテーションでの過酷な労働を強いられた。

(ウ)アメリカ合衆国が18世紀後半にイギリスから独立して以降、ラテンアメリカ地域には相次いで独立国が誕生した。メキシコは1821年に独立したが、それに先だって蜂起を主導したカトリック聖職者の (25)0 4(26) は独立運動の象徴とされる。アメリカ合衆国のモンロー大統領は、新大陸の庇護者の立場からヨーロッパに対して相互不干渉を訴えた。しかし、アメリカ合衆国の南北戦争の際しては、フランスがイギリスとスペインと共にメキシコに干渉を試み、一時 (27) 3 5(28) をその皇帝にすえた。

国内の西漸運動が一段落したアメリカ合衆国は、西欧の列強の帝国主義的進出に対抗して、ラテンアメリカ地域への政治経済的関与を強めていった。キューバの独立運動をきっかけに1898年にスペインとの間で戦争を戦い、その結果(エ)初めて植民地を手に入れることとなった。またパナマと1903年に条約を結んで、かつて (29)3 4(30) が試みて失敗した運河建設に着手し、1914年に開通させた。

第二次世界大戦後、アメリカ合衆国はラテンアメリカ諸国と(オ)米州共同防衛条約を締結し、その後米州機構を発足させて、域内の共産化を防ぐ役割を持たせた。しかし、キューバでは親米の (31)2 1(32) 政権がカストロらに倒された。これ以降対米関係は悪化し、(カ)アメリカ合衆国はキューバとの断交を決定して、在キューバ大使館を閉鎖した。その後カストロは社会主義化を宣言し、キューバはラテンアメリカ地域の革命勢力の拠点となった。

1960年代以降、(キ)ラテンアメリカ地域では困難に直面しつつも民主化と経済発展に向けた努力が続き、文化面では『百年の孤独』等の作品で知られる (33)3 1(34) が1982年にノーベル文学賞を獲得した。しかし、21世紀に入っても (35)1 6(36) 大統領による独裁的支配が継続したベネズエラのように、政治や経済が不安定な地域も少なからず残っている。

[設問1]

下線部（ア）に関連して、誤っているものを下から選び、その番号を (37) (38) にマークしなさい。

[01] アステカ王国、インカ帝国、マヤ文明の版図を東西に並べると、インカ帝国が最も東側でアステカ王国が最も西側となる。

[02] アンデス地方では、リャマやアルパカが家畜化され、牽引や食肉のために活用された。

[03] 今日世界で広く食用とされているカカオ、カボチャ、キャッサバ、ピーマンは、いずれもアメリカ大陸原産の作物である。

[04] ラテンアメリカ地域の諸文明では天文学や数学が発達し、天体観測器のアストロラーベが発明された。

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

［設問２］

下線部（イ）に関連して、誤っているものを下から選び、その番号を (39) (40) にマークしなさい。

［01］ スペイン領植民地の白人の間でも序列があり、ペニンスラールはクリオーリョよりも上に位置づけられていた。

［02］ 白人と先住民の間の混血はメスティーソと呼ばれ、植民初期には白人男性と先住民女性の間の混血が多かった。

［03］ ヨーロッパでペストが大流行した17世紀には、スペイン領植民地でも伝染病や過酷な労働のため先住民人口が激減し、ラス＝カサスは先住民の権利擁護を国王に直訴した。

［04］ ラテンアメリカ地域で採掘された銀はメキシコで貨幣に鋳造されて輸出され、以後19世紀にかけて欧米やアジアで広くこれを原型とする銀貨が流通した。

［設問３］

下線部（ウ）に関連して、アメリカ合衆国の独立に関する以下の記述のうち、誤っているものを選びその番号を (41) (42) にマークしなさい。

［01］ 1783年のパリ条約によって、アメリカ合衆国はイギリスからミシシッピ川以東のルイジアナを獲得したが、当時その西岸はスペイン領であった。

［02］ 1812年からのアメリカ＝イギリス戦争では国民意識が強まり、現在の国歌「星条旗」も作られた。

［03］ アメリカ合衆国の国名は、独立した13邦の間で結ばれたアメリカ連合規約で採用されたものである。

［04］ 独立戦争時には、フランスとスペインが植民地側について参戦し、ロシア皇帝の提唱でオランダやプロイセン等の参加する武装中立同盟が結ばれた。

スペイン、オランダ

［設問４］

下線部（エ）に関連して、アメリカがそこで獲得したフィリピンについて誤っているものを下から選び、その番号を (43) (44) にマークしなさい。

［01］ アメリカ合衆国はフィリピンを獲得後、フィリピン委員会を設置して統治したが、1907年に議会を開設するなど、フィリピン人への統治権の委譲を進めていった。

［02］ アメリカ合衆国は、フランクリン＝ローズヴェルト政権期にフィリピンに対して独立を約束し、第二次世界大戦後の1946年にそれが実現した。

1934

［03］ スペインはフィリピンへの進出後、住民にカトリックへの改宗を強要した。

［04］ ホセ＝リサール率いるカティプーナン党による武力革命は、アメリカ＝スペイン戦争にも助けられて1899年にルソン島全島の解放につながった。

［設問５］

下線部（オ）に関連して、冷戦期に西側で成立した以下の４つの軍事同盟について、その略称を成立順に正しく並べたものを以下［01］から［12］より選び、その番号を (45) (46) にマークしなさい。［ANZUS：太平洋安全保障条約、CENTO：中央条約機構、NATO：北大西洋条約機構、SEATO：東南アジア条約機構］

1944～

1949

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

[01] ANZUS → CENTO → NATO → SEATO
[02] ANZUS → NATO → CENTO → SEATO
[03] ANZUS → NATO → SEATO → CENTO
[04] CENTO → ANZUS → SEATO → NATO
[05] CENTO → NATO → SEATO → ANZUS
[06] CENTO → SEATO → NATO → ANZUS
[07] NATO → ANZUS → SEATO → CENTO
[08] NATO → CENTO → SEATO → ANZUS
[09] NATO → SEATO → ANZUS → CENTO
[10] SEATO → ANZUS → CENTO → NATO
[11] SEATO → CENTO → ANZUS → NATO
[12] SEATO → NATO → ANZUS → CENTO

［設問 6］

下線部（カ）に関連して、これを実施したアメリカ合衆国大統領の任期中の出来事を下から選び、その番号を (47) (48) にマークしなさい。

[01] アメリカ合衆国・イギリス・ソ連の間で、部分的核実験禁止条約が調印された。
[02] アメリカ合衆国南部で、人種隔離制度に反対するバス乗車ボイコット運動が始まった。
[03] 国家安全保障法が制定され、諜報機関として中央情報局が設置された。
[04] 大統領が、ラテンアメリカ諸国との協力を深めるため「進歩のための同盟」を提案した。

［設問 7］

下線部（キ）に関連して、誤っているものを下から選び、その番号を (49) (50) にマークしなさい。

[01] アメリカ合衆国は、ヨーロッパ統合の動きをみて、1988年にメキシコと自由貿易協定を結び、後にカナダを加えて、1994年に北米自由貿易協定を発足させた。
[02] ブラジルやメキシコは、先進国の資本や技術を取り込んで工業化を進めたことで、アジア諸国と並ぶ新興工業経済地域（NIES）の一部として注目されるようになった。
[03] ラテンアメリカ諸国の中でも、ブラジル等の4カ国はアメリカ合衆国との貿易自由化よりも地域統合を優先し、1995年に南米南部共同市場を発足させた。
[04] ラテンアメリカ地域のカトリック教会では、貧富の格差や人権の抑圧状況を受けて、社会変革に積極的に関与すべきだとする「解放の神学」が広まった。

〔語群〕

01. アサーニャ　02. アジェンデ　03. アフマディネジャド　04. イダルゴ
05. ヴァルガス　06. オスマン　07. カウディーリョ　08. カランサ
09. ガルシア＝マルケス　10. カルデナス　11. ゲバラ　12. サン＝ドマング
13. サン＝マルティン　14. シモン＝ボリバル　15. スタンリー　16. チャベス
17. ディアス　18. デュボイス　19. トーマス＝マン　20. パステルナーク
21. バティスタ　22. ピアリ　23. ピノチェト　24. フアレス
25. フジモリ　26. ペサーニャ　27. ペロン　28. ボルソナロ
29. マクシミリアン　30. マルコス　31. マルセル＝デュシャン　32. マルビナス
33. モラエス　34. レセップス　35. ローズ　36. ロスチャイルド
37. ロックフェラー　38. ロマン＝ロラン

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

問題 Ⅲ

以下の文章の空欄 (51) (52) から (63) (64) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部に関連する設問1から4については最も適切な語句を語群より選び、設問5については最も適切な選択肢を選んで、それぞれの番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

『海洋自由論』においてグロティウスは、(ア)自然法を根拠に海洋の自由を主張し、アジア海域におけるオランダの交易拡大を擁護したが、当該海域においては紀元前より東西海洋交易ルートが機能していた。いわゆる「海の道」である。かくして、オランダのようなヨーロッパ勢力は、遅参者にすぎなかった。

モンスーン航海術の確立によりインド洋から南シナ海にかけて交易が活発化すると、5世紀から7世紀のインド南端部では (51) (52) 朝（前3世紀頃～後14世紀）や (53) (54) 朝（3～9世紀）が繁栄した。イラワディ川流域ではインドとの交流を通じて (55) (56) とよばれる人々の都市国家群が栄え、内陸ルートでインドの産物が扶南まで運ばれた。その中継地点にあたるチャオプラヤ川の中・下流域では、モン人の港市国家群が連合して (57) (58) の成立をみた。

7世紀以降、マレー半島横断ルートに代わりマラッカ海峡ルートが主流になると、(59) (60) 文化と呼ばれる漁撈文化をもとに形成されていた林邑が、南シナ海交易を主導した。マラッカ海峡では、パレンバンを中心にマレー人の港市国家連合が現れる。他方、ジャワ島のマレー人勢力が自立し、マレー半島をも支配したのがシャイレンドラ朝であるが、これは9世紀半ばに(イ)古マタラム朝によってジャワ島から排除されている。その後、マレー半島とスマトラ島の港市国家は (61) (62) という連合を形成して交易の安定を図った。

いわゆる第1次大交易時代における南シナ海の覇権は、(61) (62) と(ウ)シンガサリ朝の間で争われる。マムルーク朝がシリア・エジプト・紅海の交易ネットワークを掌握すると、ムスリム商人はインド洋から南シナ海へといっそう盛んに進出し、(エ)東南アジア島嶼部のイスラーム化を促進した。続く第2次大交易時代に勢力を拡大した港市国家マラッカは、(63) (64) とよばれる港務長官を置き、東西海洋交易の中継港としての地位を確立したが、ポルトガルの侵攻により姿を消す。17世紀には、オランダとイギリスがポルトガル海洋帝国に挑戦して香辛料交易の独占を試みたが、(オ)マラッカ海峡のシンガポール側出口をおさえる【A】、同じくマラッカ海峡のインド洋側出口をおさえる北スマトラの【B】、西ジャワでスンダ海峡をおさえる【C】、南スラウェシの【D】といったイスラーム港市国家が立ちはだかり、独占的な海洋交易ルートの構築には至らなかった。

［設問1］

下線部（ア）に関連して、ストア派の影響の下、自然法思想を典型的な形で示した最初の法思想家とも目される、ローマ共和政末期を代表する文人は (65) (66) である。(65) (66) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

［設問2］

下線部（イ）に関連して、古マタラム朝が、ジャワ島中部に建造したヒンドゥー教寺院は (67) (68) である。(67) (68) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

[設問 3]

下線部（ウ）に関連して、ジャワ島東部の穀倉地帯を基盤とする王権で、シンガサリ朝に打倒されたのは (69) (70) 朝である。(69) (70) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 4]

下線部（エ）に関連して、『東方見聞録』や『三大陸周遊記』にも記述のある、スマトラ島北端の港市国家は (71) (72) である。(71) (72) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 5]

下線部（オ）に関連して、空欄【A】から【D】に入る港市国家の名称として、最も適切な組み合わせはどれか。以下［01］から［10］より選び、その番号を (73) (74) にマークしなさい。

	【A】	【B】	【C】	【D】
[01]	アチェ	ジョホール	バンテン	マカッサル
[02]	アチェ	マカッサル	ブルネイ	ジョホール
[03]	ジョホール	アチェ	バンテン	マカッサル
[04]	ジョホール	マカッサル	アチェ	バンテン
[05]	ディリ	アチェ	マカッサル	ジョホール
[06]	ディリ	バンテン	アチェ	マカッサル
[07]	バンテン	ジョホール	ブルネイ	ディリ
[08]	バンテン	ディリ	アチェ	ブルネイ
[09]	マカッサル	ジョホール	ブルネイ	バンテン
[10]	マカッサル	バンテン	ディリ	ジョホール

〔語群〕

01. アヌラダプラ　02. アーヤーン　03. イシャナプラ　04. ヴァイシュラヴァナ
05. ヴィジャヤ　06. ウルピアヌス　07. エピクテトス　08. カーディー
09. キケロ　10. クアンナム　11. クダ　12. クディリ
13. クトゥブ＝ミナール　14. サーフィン　15. サムドゥラ＝パサイ　16. サヤ＝サン
17. サラスヴァティー　18. サーンチー　19. ジャーヴァカ　20. シャーバンダル
21. ジャンビ　22. シンハラ　23. 新マタラム　24. 水真臘
25. ズィンミー　26. スラバヤ　27. セネカ　28. タフティバヒー
29. タンロン　30. チェーラ　31. チャールキヤ　32. チョーラ
33. 丁零　34. ドヴァーラヴァティー　35. ドゥッラーニー　36. トリボニアヌス
37. ドンソン　38. ナンダ　39. ニザーム　40. パタニ
41. パッラヴァ　42. ハルマンディル　43. パーンディヤ　44. ピュー
45. ファキーフ　46. フーナ　47. プラティシュターナ　48. ボロブドゥール
49. マジャパヒト　50. 羅越　51. ラーシュトラクータ　52. ランサン
53. 陸真臘　54. ロロジョングラン　55. ワット＝アルン

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

以下の文章の空欄 (75) (76) から (87) (88) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部（ア）から（カ）に関連する設問1から6について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

19世紀から20世紀初頭にかけての東アジアでは、ヨーロッパ諸国や日本の進出によって、清朝を中心とする国際秩序が崩れ、(ア)これらの国々による清朝領土内での勢力拡張も進んだ。これに対して、日清戦争の敗北後には (75) 19 (76) の注釈を重視する公羊学派の知識人らが、政治改革を試みるが失敗に終わった。また、華北の農村では、反キリスト教の動きが広まり、清朝によって (77) 2 8 (78) として公認された宗教的武術集団が北京や天津に入り外国人を攻撃した。この集団は西太后に支持されたが、アメリカ合衆国・イギリス・オーストリア＝ハンガリー・ドイツ・日本・フランス・ロシアおよび (79) 0 2 (80) の8ヵ国連合軍によって鎮圧された。

同じ頃、華僑のネットワークとその巨額の資金援助を利用して、新しい政治運動が起きつつあった。例えば、ハワイで革命組織を結成した孫文は、1905年に東京で宋教仁らの (81) 0 5 (82) 会などの革命組織と共に中国同盟会を結成した。他方、清朝も立憲君主制への移行を目指し、(イ)光緒新政とよばれる改革に着手していた。しかし、1911年に清朝が幹線鉄道の国有化と外国からの借款による鉄道建設の方針を表明したことで、各地で反対運動が起こり、(83) 1 7 (84) では総督の趙爾豊による弾圧を受けたため暴動が勃発する。これをきっかけに、武昌で軍隊が蜂起し、多くの省が清朝からの独立を宣言することになり、翌年には中華民国が成立した。

第一次世界大戦が始まると、東アジアでの欧米列強の勢力は弱まったが、代わって日本が、1915年に(ウ)袁世凱に対して二十一ヵ条の要求を提出するなど、中国における権益の拡大を図った。また、ロシア革命が起きると、1921年にコミンテルンの支援を受けて(エ)中国共産党が結成された。国民党を結成した孫文も、1924年には「連ソ・容共・扶助工農」を掲げ、ソ連から軍事支援を得ることで、革命軍の組織化に乗り出した。1926年には、蔣介石率いる国民革命軍が北伐を開始するが、日本の田中義一内閣が北伐に干渉したため、1928年に (85) 1 4 (86) で軍事衝突が生じた。

同年、国民党が主導する国民政府のもとで中国の統一が完成した。しかし、1932年に日本の関東軍が中国東北部に満洲国を建設したことで、国民政府の統治領域は限定的なものとなった。1935年に関東軍は (87) 0 7 (88) 防共自治政府を組織し、華北への軍事行動を強めた。日中戦争が始まると、中国は第二次国共合作のもと抗日民族統一戦線を結成し、アメリカ合衆国・イギリス・ソ連の支援を受けて(オ)2回にわたり首都を移しながら抗戦を続けた。

第二次世界大戦後、国民党と共産党は内戦を繰り広げ、共産党が勝利した。1949年10月に毛沢東を主席として中華人民共和国が建国され、一方、蔣介石は台湾へ逃れ、中華民国を存続させた。両者は(カ)冷戦の世界化の過程で、東西それぞれの陣営に組み込まれることになった。

［設問1］

下線部（ア）に関連して、ヨーロッパ諸国による中国進出に関わる次の（a）から（d）の出来事を古い順に正しく並べたものを以下［01］から［12］より選び、その番号を (89) (90) にマークしなさい。

（a）九竜半島南部がイギリスに割譲された。 1860

（b）ドイツが膠州湾を租借した。

（c）マカオがポルトガルに割譲された。 1887

（d）ロシアが大連・旅順を租借した。

a ≧ c

b → d

c →

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

[01] (a) → (b) → (d) → (c)
[02] (a) → (c) → (b) → (d)
[03] (a) → (d) → (c) → (b)
[04] (b) → (a) → (d) → (c)
[05] (b) → (c) → (a) → (d)
[06] (b) → (d) → (c) → (a)
[07] (c) → (a) → (b) → (d)
[08] (c) → (b) → (d) → (a)
[09] (c) → (d) → (a) → (b)
[10] (d) → (a) → (b) → (c)
[11] (d) → (b) → (c) → (a)
[12] (d) → (c) → (a) → (b)

[設問 2]

下線部（イ）に関連して、誤っているものを下から選び、その番号を (91) (92) にマークしなさい。

[01] 科挙が廃止され、海外での学位取得者などにも官位取得の道が開かれた。
[02] 外交を担当する総理各国事務衙門が設置された。
[03] 西洋式軍隊（新軍）の整備が進んだ。 1860
[04] 国会開設が約束され、地方議会の準備が推進された。

[設問 3]

下線部（ウ）に関連して、袁世凱や、彼の死後に中国各地で自立し「軍閥」と呼ばれた人物についての記述として、誤っているものを下から選び、その番号を (93) (94) にマークしなさい。

[01] 段祺瑞は直隷派、呉佩孚は安徽派の軍閥である。
[02] 閻錫山は、蔣介石による北伐時に国民政府を支持した。
[03] 袁世凱が帝政復活を宣言すると、それに反対する第三革命が起きた。
[04] 張作霖が関東軍によって爆殺されたのは、列車で北京から中国東北部へ戻る途中であった。

[設問 4]

下線部（エ）に関連して、この党の初代総書記が指導する文化運動に参加した人物について、誤っているものを下から選び、その番号を (95) (96) にマークしなさい。

[01] 李大釗は北京大学でマルクス主義を研究した。
[02] 魯迅は医学を志し日本に留学したが、文学に転向し『狂人日記』を発表した。
[03] 陳独秀は『青年雑誌』を発刊した。
[04] 胡適はフランスに留学し、写実主義を学び白話文学を提唱した。

[設問 5]

下線部（オ）に関連して、国民政府の最初の臨時首都となった都市の名称を語群から選び、その番号を (97) (98) にマークしなさい。

武漢 → 南京

鉛筆による書き込みは問題提供者　　ゆげ塾の解答はマーカーと打ち込み

［設問 6］

下線部（カ）に関連して、以下の西側諸国が中華人民共和国を正式に承認した順に正しく並べたものを下から選び、その番号を（99）（100）にマークしなさい。

[01] アメリカ合衆国 → イギリス → フランス
[02] アメリカ合衆国 → フランス → イギリス
[03] イギリス → アメリカ合衆国 → フランス
[04] イギリス → フランス → アメリカ合衆国
[05] フランス → アメリカ合衆国 → イギリス
[06] フランス → イギリス → アメリカ合衆国

〔語群〕

01. 維新	02. イタリア	03. 易経	04. オランダ	05. 華興
06. 広東	07. 冀東	08. 広州	09. 江西	10. 興中
11. 光復	12. 湖南	13. 湖北	14. 済南	15. 山西
16. 詩経	17. 四川	18. 上海	19. 春秋	20. 上帝
21. 書経	22. 徐州	23. 常勝軍	24. 瑞金	25. スペイン
26. 西安	27. 陝西	28. 団練	29. 長沙	30. 直隷
31. 鄭州	32. 南京	33. 熱河	34. 八旗	35. 武漢
36. ベルギー	37. 北洋軍	38. ポルトガル	39. 礼記	40. 緑営